

在トリニダード・トバゴ日本国大使館管轄9か国の治安情勢
(2017年5月)

1 トリニダード・トバゴ (TT)

○ 2017年1月～4月の犯罪状況

TT警察によると、殺人事件の解決率は18%、凶悪犯罪は28%であったと発表。特定犯罪（強盗、侵入窃盗、窃盗）の発生率は昨年同期より16%減少したとのこと。

○ キュエップ地区（トリニダード島北部）で、警察官が強盗被害

5月5日(金)、交通部所属の非番の警察官が、午後8時30分頃に高速道路沿いを歩いていたところ強盗に襲われ、車で拉致され、南下したチャグアナス地区に放置された。警察官は頭にビニール袋をかぶせられ、両手足を縛られて放置されていた。（被害金約300TTドル）

○ モールや病院の駐車場での自動車盗が多発

TTは、5月6日時点で、自動車盗の被害件数が、昨年同期の20%増加（232件→289件）しており、特にモールや病院の駐車場での被害が多いと発表。また、車種別には日産車の被害が4割を占め、主にティーダが狙われる傾向にあるとのこと。

○ セントヘレナ地区（空港南側）のKFC店内で男が撃たれ死亡、流れ弾で客が重傷

5月15日(土)午後10時30分頃、KFC店内（営業中）に男2人組が押し入り、けん銃で客の男性に発砲。同男は死亡し、その流れ弾が他の男性客に当たり、重傷を負わせた。死亡した男性は、犯人に後を付けられていたとみられる。

○ 年間1600件の詐欺被害が届けられ、現在まで未解決事件が12000件に

TT警察（詐欺対策本部）では、横行している詐欺被害に遭わないために細心の注意を払うよう、国民に呼びかけている。（不動産購入を名目とした詐欺等が多発）

○ 今年の銃器押収数は367丁、前年同期の11%増（5月24日現在）

TT警察は、違法銃器対策のため、航空、湾岸警備隊、軍隊と共に、陸海空において捜索を実施している。統計では、今年の殺人の77%、強盗の32%、傷害の60%で銃器が使われている。2016年の年間押収数は617丁であった。

○ 警察と軍隊を増員し、エンタープライズ地区（トリニダード島中部）の警戒強化

5月19日(金)に同地区の会社経営者3人が射殺されたことを受け、警察と軍は共同でパトロールを行い、警戒を強化している。

2 ガイアナ

○ ベネズエラ製の爆薬所持で3人を逮捕

5月16日、ガイアナ警察は、女性（45歳）と息子2人を、アパートに大量の爆薬（爆弾等を含む）を隠匿所持していたとして逮捕した。爆薬類は、軍以外の輸入は認められていないが、ベネズエラから密輸入され、闇市で売られていると言われている。

○ 殺人発生率は昨年比34%減、解決率は83%（2017年1月～4月）

ガイアナ警察は、今年4月までの殺人発生率は35件（昨年同期53件）で昨年比34%減し殺人事件解決率は83%であると発表した。

3 東カリブ諸国

○ 銃器関連犯罪者に対し、刑期2倍へ（セントクリストファー・ネイビス）

ハリス首相は、銃器関連犯罪対策として、略式裁判対象事件に対し、現行の10年以下から20年以下の懲役にすることを国会に提案すると述べた。同対象事件は銃器の密輸出入、無許可製造、不法所持等も含まれている。また正式裁判対象事件では最高無期懲役にし、死刑相当の罪には保釈を許可しない方針とのこと。